

上石津町地域協議会 平成18年度第1回会議 会議録

日 時：平成18年6月21日（水） 午前10時から午前11時40分まで

場 所：上石津地域事務所 3階 第3会議室

出席委員

区 分		氏 名	役 職
会 長	学識経験者	三宅 治	前上石津中学校校長
副会長	公募による者	池田 信之	
委 員	公共的団体等を代表する者	伊藤 幸夫	牧田連合自治会会長
		小寺 喜太郎	一之瀬連合自治会会長
		祢宜 時夫	多良連合自治会会長
		川添 酉一	時連合自治会会長
		高木 淳一	上石津町消防団副団長
		日比 芳子	上石津中学校PTA会長
		吉廣 一郎	上石津地区社会福祉協議会副会長
		川添 勇	上石津町商工会会長
		加藤 美智子	大垣市食生活改善協議会 (上石津支部)副会長
	学識経験者	後藤 實夫	西南濃森林組合代表理事組合長
	公募による者	阿藤 昭博	
雲村 法子			

欠席委員

区 分		氏 名	役 職
委 員	公共的団体等を代表する者	平 塚 寛	上石津町青年のつどい協議会会長

出席者：大垣市長 小川 敏

事務局

企画部	部長	水井 静雄
	政策調整課長	広瀬 幹雄
	政策調整課課長補佐	寺嶋 太志
	政策調整課	高木 俊介
	総合計画策定室長	社本 久夫
上石津地域事務所	所長	後藤 定
	地域政策課長	市川 正志
	地域政策課課長補佐	中川 真澄
	地域政策課	三輪 健治

傍聴者：1名

上石津町地域協議会・平成18年度第1回会議 発言要旨

委員名(敬称略)	内 容
伊藤 幸夫	<p>牧田地区では旧上石津町で住民ワークショップを開催し、地域住民からの提案を55項目ほどにまとめた。そのうちの8項目について昨年まで補助金を受けて実施してきた。今後、補助金が見込めないため1戸あたり1,500円の負担により活動の準備を進めている。</p> <p>地域づくりを推進していくために、牧田支所を今後も継続的に設置していただきたい。</p> <p>牧田地区に学童保育という要望が出ている。</p> <p>県道牧田室原線(広瀬橋から下流の養老町との境、別所山(象鼻山)までの区間)の歩道整備を切にお願いしたい。</p> <p>牧田地内の上野交差点は、非常に危ない。移転するという案が出ているが方針ができていないで交差点の改良をお願いしたい。</p> <p>東海自然歩道が非常に傷んでいるので、是非整備をお願いしたい。</p> <p>牧田川の広瀬橋より下流の魚道が十分整備されていない。牧田川を生き返らせるということで魚道の整備について建設省への強い働きかけをお願いしたい。</p> <p>地上デジタルテレビへの対策として、ケーブルテレビ化を早急に推し進めてほしい。</p>
小寺 喜太郎	<p>合併した上石津は、大垣市の60%の面積を占めるが、人口は4%で非常に少ない。また、少子高齢化により、農林業の後継者不足が問題。環境問題のこともあり、行政の支援をお願いしたい。</p> <p>一之瀬地区の農業は、牧田川から水を取り寄せているが、農業用パイプラインの整備をお願いしたい。</p> <p>一之瀬地区ではTV組合を作っているが、デジタル放送開始時には受信できなくなる。こうした対策に、理解、協力をお願いしたい。</p>
祢宜 時夫	<p>都市と里山で格差がある。配慮をお願いしたい。</p> <p>上石津地域事務所に喫煙室をお願いしたい。</p>
川添 西一	<p>今年度、温泉活用研究事業が予算化されているが、施設整備にいち早く取り組んでほしい。</p> <p>若い者の働く場所、企業誘致をお願いしたい。三重県からの玄関口にすばらしい企業誘致ができるよう、配慮してほしい。</p> <p>時地区においても、地上デジタル放送難視聴問題に対応してほしい。</p>
高木 淳一	<p>学童保育は現在、多良地区1か所のみで実施されている。人口から見ると1か所で十分かもしれないが、面積と距離を考え、各校区に1か所設置してほしい。</p> <p>県道牧田室原線の歩道を早急に整備してほしい。管理者等の複雑な地域のため、まずはその辺の調査から行ってほしい。</p>
日比 芳子	<p>子どもが一人で学校から帰らなければいけない地区がある。声をかけるなどして、地域で見守ってほしい。</p> <p>PTA活動で公共施設を利用する際は、施設使用料の軽減をしてほしい。</p>

吉廣 一郎	<p>上石津地区には特別老人ホームがなく、よその市町にある老健、特養に入所している。特別養護老人ホームの建設をお願いしたい。</p> <p>緊急通報システムの取り付けには申請から、半年から1年かかる。市の負担と所得による自己負担もあるので、申請から1か月ぐらいで取り付けしてほしい。</p>
川添 勇	<p>上石津町の商工業者では、例年、小売業の廃業が多くなっている。そうしたなか、16年度に経営指導員が1名に減員された。今後定年退職する職員もいるが、減員のないよう配慮してほしい。</p> <p>商工会の補助金が減額されると、合併しなければいけなくなる。高齢化が進むなか、記帳指導、税務指導は必要な地域。補助金を削減しないでほしい。</p> <p>県道上石津多賀線は、時山地区が未完成。平成21年の計画通りの完成をお願いしたい。</p>
加藤 美智子	<p>食改の栄養教室の開催が、平成18年度から大垣市での開催となる。1年おきでもいいので、上石津で開催してほしい。</p> <p>新市記念交流事業として、8月19日(土)に、あしたばソーメン等を使った流しソーメンなどを実施する。参加をお願いしたい。</p> <p>活動報告をこまめに出すので、補助金の予算をお願いしたい。</p>
後藤 實夫	<p>燃料革命や木材の代替品の開発から、林業が生業として成り立たなくなり、山への投資や手入れをしなくなった。これでは、山の持つ公益的機能がなくなってしまう。新大垣市では予算をつけていただいたが、これからも官民一体となって山を守っていく必要がある。</p>
阿藤 昭博	<p>町からの支援を受け、まちづくり活動を行ってきたが、これからも市職員と共同でまちづくりを進めていく必要がある。</p> <p>まちづくりの拠点を地域事務所に設置してほしい。</p> <p>青少年育成の会議がスイトピアセンターであるが駐車料金が必要。南の端から行くのに違和感を感じる。公的な会議は無料の会場でお願いしたい。</p>
雲村 法子	<p>上石津の住民は、大垣市のトップに大変期待している。自分たちも、上石津が大垣市のなかで光る地域でありたいとの願いをこめて活動している。</p> <p>緑豊かな上石津から、子育ての講演や会合の場が生まれ、「いきいき子育て」を発信できたらと思う。</p>
池田 信之	<p>田舎暮らしには車とアクセス道路が大切。冬期間の除雪について、引き続き実施してほしい。</p> <p>地域にとって最低限必要なものは、小中学校、支所があります。現状維持をお願いしたい。</p>
三宅 治	<p>子どもたちには、ふるさと郷土を愛し、自信と誇りを持って大垣市の中に入ってほしい。</p> <p>社会教育委員もしているし、各学校の訪問もしている。次回で(教育について)提案したい。</p>

【会議録】

午前10時00分開会

(後藤 定 上石津地域事務所長)

皆さんおはようございます。本日はお忙しいところ、お集まりいただき、誠にありがとうございます。只今から、上石津町地域協議会 平成18年度第1回会議を始めさせていただきます。私は、本日の司会を務めさせていただきます、上石津地域事務所長の後藤でございます。どうぞよろしくお願いたします。

さて、本会議は、個人情報など非公開とする事案がないことから、公開とさせていただきます。また、本日の会議の会議録は、市役所本庁1階の市政情報コーナー及び市のホームページにて公開いたしますので、よろしくお願いたします。

なお、本日は、平塚寛様にご欠席でございますのでお知らせいたします。それでは、ここで、小川市長のご挨拶を申し上げます。

(小川 敏 大垣市長)

皆さんおはようございます。本日は大変お忙しいところ、また、お暑いところ、多数の皆さんが、上石津町地域協議会、平成18年度第1回会議にご出席いただき誠にありがとうございます。

皆さんもご承知のとおり、本年3月27日、大垣市、上石津町、墨俣町、1市2町の合併がスタートいたしました。「新・大垣市」として、新しい歴史の1ページを踏み出したところでございます。この合併も平成の大合併の一環なわけであり、この歴史的な合併が成立したということは、ひとえに皆様のおかげと厚く感謝申し上げる次第でございます。

上石津地域、墨俣地域、それぞれに、今までの豊かな自然、あるいはまた、歴史や文化があるわけでございます。これらのそれぞれの地域の地域資源を生かして、魅力的なお互いの個性を生かした、魅力のあるまちづくりを行っていくために、それぞれの地域に地域自治区を設けさせていただきました。そして、そこに地域協議会を設置して、いろいろ皆さんからご協議いただき、そして、まちづくりを前向きに進めていこうということでございます。この地域協議会は、上石津地域も墨俣地域も各15名というメンバーで構成をさせていただきます、各団体の代表の皆さんでありますとか、公募の委員の皆様方にお入りいただいております。そして、皆様には、今日のこの地域協議会において心よく受けていただき、そして、ご参加をいただき重ねて厚くお礼申し上げたいと存じます。

これからの上石津地域と同時に1市2町の魅力のあるまちづくりに向けて、皆様からの熱い思い、積極的なご意見、ご提案、そういったものをいただきたいと思っておりますのでどうぞよろしくお願したいと思っております。

わたくしも2期目に入りまして、「飛躍発展する大垣のまち」、先ほども申し上げましたこの豊かな自然、歴史、文化、これを大垣に限らず、上石津、墨俣、それぞれの地域資源や個性を生かして魅力のあるまちづくりを進めていこうと思っております。大垣市にはソフトピアというものがありまして、ITなどを活用して近代的なまちづくりをやっていこうということでございます。

この上石津地域は緑豊かな里山地域であります。また、交通の要所の地ということで、古く歴史文化の根づいた所でもあるわけでございます。特に、上石津の特徴的な

里山という資源についてですが、森林資源あるいは農業資源、人間の手の入った豊かな自然ということになるのかも知れません。世の中では京都議定書が発効して、環境問題というのも大変熱をおびている訳であります。二酸化炭素の排出量、地球温暖化ガスの6%を排出削減しないといけないにもかかわらず、実際には8%ほど増加しており、全体で14%ほど減らさなければならないという話もあるわけです。まさに、上石津地域というのは、緑豊かな緑の里山地帯で環境にやさしい地域でもあります。

大垣の場合だけですと森林資源というのは、森林面積が5%くらいです。しかし、1市2町が合併いたしますと森林が53%を占め、半分以上が森林になるというわけでございます。その緑豊かな里山地域を生かした魅力のある地域づくりを是非進めていきたいと思っております。

その飛躍発展する1市2町の大垣のまちづくりのために、上石津地域をいかに活用するか、また、いかに魅力のあるまちに発展させていくか、皆様方の前向きな、ご意見、ご提案を是非よろしくお願いしたいと思っております。この地域協議会では、皆様方の忌憚のないご意見を色々とお聞かせいただきますことをご期待申し上げ、挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

(後藤 定 上石津地域事務所長)

ありがとうございました。続きまして、次第の2にございます、選任辞令を交付させていただきます。委員の皆様のお名前を順に読み上げさせていただきますので、市長から辞令をお受け取りください。市長に自席へ行っていただきますので、お名前をお呼びしましたらご起立をお願いします。

大垣市長から順次選任辞令を交付

伊藤 幸夫	小寺 喜太郎	祢宜 時夫	川添 西一
高木 淳一	日比 芳子	吉廣 一郎	川添 勇
加藤 美智子	後藤 實夫	三宅 治	池田 信之
阿藤 昭博	雲村 法子		

(後藤 定 上石津地域事務所長)

ありがとうございました。委員の任期は、平成22年5月31日までの4年間となります。また、各委員の皆様のご所属団体や役職などにつきましては、お手元の委員名簿をご覧くださいと存じますので、よろしくお願い申し上げます。

続きまして、次第の「3.地域協議会の概要説明」に移らせていただきます。以降、座って進めさせていただきますので、よろしくお願い申し上げます。「地域協議会の概要」につきまして水井企画部長からご説明申し上げます。

(水井 静雄 企画部長)

おはようございます。6月19日で企画部長になりました水井と申します。よろしくお願い申し上げます。「地域協議会」の概要につきましてご説明申し上げます。

お手元の資料2「地域自治区の設置に関する協議」という資料をご覧ください。これは、1市2町での合併協議を行うなかで合併の日から5年間、旧上石津町と旧墨俣町の区域を「地域自治区」とすることを定めたものです。この「地域自治区」の意見

を市政に反映させるため、今回、皆様にご参加いただきます「地域協議会」を設置することとなりました。

「地域協議会」は、「公共的団体等を代表する方」、「学識経験のある方」、「公募による方」から15人以内で構成し、任期は、平成22年5月31日までの4年間です。また、「地域協議会」の会長と副会長は、委員の皆様から選出していただき、会長が会議の議長を務めることになっております。こちらに関しましては、次第の4にございますように、後ほど選出をお願いしたいと存じます。なお、皆様に参加いただきます会議につきましても、年2～3回の開催を予定しております。今年度に関しましては、第2回目を8月ごろに開催したいと存じます。委員報酬は、無報酬となりますが、より良いまちづくりのため忌憚のないご意見をお聞かせいただきますよう、何卒よろしくお願いたします。以上で、「地域協議会」の概要につきましてのご説明を終わります。

(後藤 定 上石津地域事務所長)

「地域協議会の概要」につきまして、ご説明申し上げました。何かご質問等がございましたらお願いします。

<質疑応答なし>

(後藤 定 上石津地域事務所長)

特にご質問もないようですので、次第の「4.会長及び副会長の選出」に移りたいと存じます。まずは、会長の選出をお願いしたいと存じますが、どなたか適任の方をご推薦いただけませんかでしょうか。

(川添 西一 委員)

こうした、委員の会長、副会長の選出方法につきましては、選考委員を選出して選考していただく方法もありますが、この委員名簿を見ますと、公共的団体を代表する委員が10名いらっしゃいます。それぞれの団体の要望も今後は出てくることを考慮いたしますと学識経験者の方をお願いするのが良いと思います。学識経験者の方は、2名いらっしゃいますが、後藤さんは西南濃森林組合の組合長でもありますので、三宅さんを推薦いたします。

(後藤 定 上石津地域事務所長)

只今、三宅様を推薦するというお声をいただきましたが、いかがでしょうか。

(異議なしの声あり)

(後藤 定 上石津地域事務所長)

「異議なし」との声がございましたので、三宅様に会長をお願いしたいと存じます。三宅様、よろしくお願いたします。

続きまして、副会長の選出に移ります。会長と同じようにご推薦をいただきたいと存じますがいかがでしょうか。

(小寺 喜太郎 委員)

公募の委員の方が適任だと思います。公募の委員の方は3名いらっしゃいます。阿藤さんは、時まちづくりの代表でもありますので、池田さんを推薦します。

(後藤 定 上石津地域事務所長)

只今、池田様を推薦するというお声をいただきました。いかがでしょうか。

(異議なしの声あり)

(後藤 定 上石津地域事務所長)

「異議なし」との声がございましたので、池田様に副会長をお願いしたいと存じます。池田様、よろしく申し上げます。

それでは、三宅会長様、池田副会長様、会長、副会長の席へ移動をお願いいたします。

< 席の移動 >

(後藤 定 上石津地域事務所長)

ここからの進行は三宅会長様にお願いしたいと存じます。よろしく申し上げます。

(三宅 治 会長)

失礼いたします。只今、会長にご推挙いただきました。それぞれ、素晴らしい先輩の方々がいっしょの中で、若輩者の私が会長という任務を受けたわけですが、なにぶん未熟でございます。これから一生懸命努めて参ります。どうぞよろしくお願いいたします。

(池田 信之 副会長)

失礼いたします。私、つたない者ですが、皆様から推薦をいただきまして副会長という大役をいただきました。先ほど市長さんからご説明がありましたが、せっかく設けられました地域協議会です。地域の声を市政に反映させるということですので、形骸化することのないように一生懸命努めさせていただきますのでよろしくご指導をお願いいたします。

(三宅 治 会長)

それでは、次第に従って進めさせていただきますが、会議のスムーズな進行につきまして、皆様のご協力をいただきたいと思います。それでは、次第の「5. 市政に関する意見交換」に入りたいと存じます。事務局からご説明をお願いします。

(広瀬 幹雄 政策調整課長)

事務局の政策調整課長の広瀬です。宜しく申し上げます。

本日は、市政に関する意見交換をいただくということで、平成18年度当初予算及び主要事業についてご説明を申し上げます。「資料3 新市まちづくり計画」「資料4 平成18年度大垣市当初予算の概要」「資料5 平成18年度大垣市予算主要事業一覧

表」の3つの資料でご説明をさせていただきます。

「資料3 新市まちづくり計画」は、1市2町合併協議の中で策定された計画です。目次の「4 新市のまちづくりの基本方針」について、ご説明させていただきます。49ページをご覧ください。合併後のまちづくりの新市の将来像といたしまして「水と緑の文化・産業・情報・交流都市」という将来像を描いております。50ページ、51ページをご覧ください。50ページには、新市の基本理念として「安心・安全」「交流・連携」「共生・協働」「自立・安定」「個性・創造」の5つが掲げられております。次の51ページには、基本方針として「都市基盤の整備」「産業の振興」「生活環境の整備」「健康・福祉の充実」「教育・文化の充実」「市民参加、連携・交流の促進」の6つとなっております。この後、平成18年度の予算を説明させていただきますが、この6つの基本方針に基づいて行われております。続きまして、65ページでは、重点プロジェクトとして、「子育て日本一の都市」と施策方針が掲げられております。66ページ以降の主要施策については、お目通しいただきますようお願いいたします。大変簡単ではございますが、「新市まちづくり計画」については、これで終了させていただきます。

続きまして「資料4 平成18年度大垣市当初予算の概要」をご覧ください。1市2町の総予算額は1,456億9,500万円。内訳は、一般会計524億2,000万円。特別会計595億5,900万円。企業会計337億1,600万円です。中欄の特別会計の内訳は、物品調達会計をはじめ17の特別会計があります。また、企業会計の内訳は、病院、水道の2つの会計があります。次に一般会計の内訳につきましては、円グラフで表示してあります。自主財源が63%、依存財源が37%の財源構成となっております。歳出は、民生費150億2,432万円から順に掲載されております。次に、市民一人あたりの予算は、31万5,083円、福祉などの費用は9万307円と順に記載されております。歳出の公債費は、借りたお金の返済に充てる費用ですが、平成18年度は84億4,134万円と非常に多くなっております。これは、平成18年度に借り換えを行う費用が含まれております。実質は60億円余りとなっておりますのでご理解をお願いいたします。

最後に「資料5 平成18年度 大垣市予算主要事業一覧」でございまして、非常に資料が多いため簡単に説明をさせていただきますので、よろしく申し上げます。

印は、新規事業。上は、上石津地区での継続事業です。墨は、墨俣地区での継続事業です。ここでは、上石津地区での事業をポイント的に説明させていただきます。「地域連携を支える都市基盤の充実したまちづくり」の「都市空間の整備」では、大垣駅北口広場の整備事業。「交通体系の整備」は、上石津多賀線、牧田関ヶ原線の事業が予算化されております。2ページでは、道路整備が2件、交通安全施設整備が1件、コミュニティバス運行事業が1件あります。3ページの「魅力と創造力にあふれる活力あるまちづくり」では、4ページ以降に県単土地改良事業などが掲載されております。7ページの「観光の振興」では、新市誕生記念事業、かみいしづ温泉スタンド事業で温泉活用研究事業を予算化しております。また、おいしい大垣の水PR事業ということで、本日、皆様に「大垣の水」をお配りいたしました。9ページの「安全・安心で快適な暮らしを支える生活基盤の充実した環境にやさしいまちづくり」が、17ページまで続きます。10ページでは、地籍調査事業。11ページでは、地域防災計画見直し事業。12ページでは、常備消防事務委託料。14ページでは、簡易水道改良事業。16ページでは、県施行急傾斜地崩壊対策事業、かみいしづ緑の村公園管理事業、里山体験学習環境整備事業があります。17ページから「人と人が支え合い健やかで

人間味のあるまちづくり」として、25ページまで続きます。18ページでは、国民健康保険直営診療施設医業費。20ページでは、外出支援サービス事業。23ページでは、児童デイサービス事業。中ほどで、出産祝金支給事業では、第3子以降の出産に対し、祝金が支給されます。25ページ以降については、「生きがいと個性と創造力を育むまちづくり」が32ページまでです。27ページでは、小中学校のスクールバス運行事業。32ページでは、旗本高木家文書データベース事業。最後になりますが、33ページでは、「市民と行政が一体となった連携と交流のまちづくり」としてグリーンフロント創造の森文化活動事業、里山林学習事業などがございます。以上、大変大雑把ではございますが「平成18年度 大垣市予算主要事業一覧表」の説明を終わります。どうぞよろしくお願いいたします。

(三宅 治 会長)

ありがとうございました。ご説明いただいた本年度の事業を踏まえまして、皆様からご意見をいただきたいと存じます。来年度以降に実施してほしい事業の要望でもかまいません。また、市政全般に関するご意見でも結構です。なお、おひとり2分程度でお願いしたいと存じます。それでは、伊藤様から順にご発言をお願いします。

(伊藤 幸夫 委員)

一番バッターということで大変恐縮に存じます。大垣市と合併し、3カ月が経過しました。そこで、いろいろな会合に出席をいたしました。大垣市の大きなスケールに飲み込まれそうになっております。

牧田地区では、地域づくりということで、旧上石津町で住民ワークショップを開催し、地域の皆様からの提案を55項目ほどにまとめていただきました。その内の8項目について歩み始めております。地域づくりについては、いままでは行政からご支援をいただいて活動をして来たわけですが、今後はその先が見えないということで、地域の皆様にお願ひし、1戸あたり年額1,500円を負担していただき、地域の催しごとを進めていく準備を整えております。

また、地域づくりを推進していくために、牧田支所を今後も継続的に設置をしていただくようお願いいたします。特に、平井、乙坂という遠距離の方は、支所がなくなりますと地域事務所までは大変でございます。是非、支所の存続をお願いいたします。

大垣市は、子育て日本一という取り組みをしておられるわけでございます。牧田地区に学童保育という要望がでております。是非お願いします。

それから交通に関してでございますが、前から提案していますが、なかなか進行していかない広瀬橋から下流の養老町との境、別所山までの歩道を整備していただくことを切にお願いします。この区間は、交通量が多い中、高校生の自転車通学者も多く、非常に危険な場所になっております。

牧田地内の上野の交差点は、前々から非常に危ないということで、移転して設けるという案が出ていますがなかなか方針ができていませんのでお願いします。平井から21号線に抜けるバイパスという観点からも是非整備をお願いします。

それから、もう1点は、東海自然歩道です。現在非常に傷んでいます。是非整備をお願いします。

特に要望しておきたいのは、牧田川の多芸橋の上流付近までは、鮎、サツキマスなどが随分溯上して来ます。しかし、そこから上流の広瀬橋のダムまでの魚道が十分整備されていません。牧田川を生き返らせるということで魚道の整備を建設省に強く働

きかけをお願いします。

最後に、地上デジタルテレビへの対策として、ケーブル化の要望でございます。是非、早急に推し進めていただくことをお願いいたします。これで終わります。

(三宅 治 会長)

ありがとうございました。非常にたくさんのことで、今、全てのことに答えすることは難しいということで、お聞きしていただいたという事でもよろしくお願ひいたします。それでは、小寺様ご発言をお願いします。

(小寺 喜太郎 委員)

上石津は12,000haの広大な面積であり、その中で林地が10,500haを占めております。上石津が大垣市と合併して、上石津が60%の面積を占めると思っています。しかし、人口は4%で非常に少ない。また、少子高齢化が進み、林業、農業ともに後継者について大きな問題となっているのが現状です。先ほど市長さんが申しておられましたが、環境問題が非常にやかましくなっており、林業に対する支援をお願いします。

また、一之瀬地区の農業は、牧田川から水を取り寄せて農業を行っていますが、維持管理が大変で、パイプラインの整備を是非お願いします。このことは、地元からも強い要望が出ておりますので、取り組みをお願いします。

また、一之瀬地区は、TV組合をつくり、テレビの難視聴の対策を行ってきましたが、デジタル放送開始によりテレビ受信が出来なくなります。こうした対策にもご理解、ご協力をお願いします。

(三宅 治 会長)

ありがとうございました。もし、事務局の方でそれぞれのご意見等についてお答えできるものがあれば、お答えいただくということをお願いします。それでは、祢宜様ご発言をお願いします。

(祢宜 時夫 委員)

都市と里山ということで格差があるように思います。それについては、ご配慮をお願いします。

私は大垣市での会議に行くのですが、施設には喫煙室が設けられています。しかし、上石津にはありません。地域事務所に喫煙室をお願いします。

(三宅 治 会長)

ありがとうございました。続きまして、川添様ご発言をお願いします。

(川添 西一 委員)

ご案内のように、私どもは、一番西南の三重県の玄関で、一番奥地でございます。限られた時間でございますので、端的に2点ほどお願いします。

地域のまちづくりについては、公募の委員の中でまちづくりの会長が参加しておりますので、後で発言があると思います。さて、先ほどお話がありましたように一番関心が深いのは温泉です。今年度は、温泉活用研究事業の予算化をいただいておりますが、どうか早急に計画していただき、施設整備にいち早く取り組んでいただきますよ

うお願いします。

また、昨年、市長さんにおいていただいた時に、若い者から意見が出ていましたが、働く場所、企業誘致をお願いします。何か良い企業がございましたら、三重県からの玄関口に素晴らしい企業誘致が出来ますように、格段のご配慮をいただきたいと思えます。

先ほども、一之瀬、牧田地区からお願いがございました難視聴への対応についてでございます。この地域においてテレビが5年後にまったく映らないということがないようにお願いして終わります。

(三宅 治 会長)

ありがとうございました。これに対して、何かございますか。

(広瀬 幹雄 政策調整課長)

一番ご心配いただいている地上デジタルテレビへの対応でございます。先般市議会でも、小川議員さんをはじめご質問をいただいている件でございます。デジタル放送の難視聴対策については、国も県もしっかりした方針を出しておりません。今後、県への対応を見極めて対応をしていきたいと考えております。これは、上石津地区だけでなく、岐阜県では飛騨地域をはじめ、当然難視聴地域が多くございます。また、日本全体での課題でもございます。こうした現状ですので、もうしばらくご猶予をいただけたらと思っております。

次に、温泉については、この地域には温泉が多くございます。従って、どういった温泉施設があるか、どういった活用がなされているのか、どういった施設が良いのか、ということがあります。私どもが一番心配しておりますのは、皆様にご利用していただかないと維持費も出なくなるだろうということです。大垣市では、こうした施設運営については、指定管理者でということになります。やはり民間の方に運営していただくような、そんなイメージを持っておりますが、そうした場合でも継続できるように、本年度研究調査費を予算化しておりますのでよろしくお願いいたします。

(三宅 治 会長)

ありがとうございました。それでは、高木様ご発言をお願いします。

(高木 淳一 委員)

私は消防団の代表ですので、本来消防についてここで話すべきだと思ったのですが、子育て世代の代表でもあると思っております。先ほど、牧田連合自治会長から話がありましたように、学童保育については、今現在、多良地区で1か所行われております。人口からみれば1か所で十分だろうということなのかも知れませんが、面積と距離を考慮いただき、各校区に1か所学童保育の施設をお願いします。私は、上は小学校1年生から下は1歳半の3人の子どもの親でございますので、そういったことを色々考えています。周りの皆さんも、そういう話をしておられますので、今現在あるじゃないかではなくて、もっと充実をお願いします。

先ほど広瀬橋より下流の堤防の話が出ましたが、私も乙坂に住んでおりまして、高校生が多く通る中、大型車が多く通り大変危険です。現に何年か前に小学生の列に車が突っ込んで3人ほどひかれたという事故もありました。早急に歩道の整備をお願いします。あの辺りは、管理者等の複雑な地域ですので、簡単には行かないということ

もありますが、その辺の調査から行っていただけたらと思います。

(三宅 治 会長)

ありがとうございました。この件に関しまして何かございますか。

(水井 静雄 企画部長)

新しい事業についてはこれからということになりますが、先ほど予算をご説明しましたように、旧上石津町で行われていた子育て事業は予算化され、平成18年度は大垣市で実施されております。

(三宅 治 会長)

ありがとうございました。それでは、日比様ご発言をお願いします。

(日比 芳子 委員)

上石津中学校のPTAをしております日比と申します。よろしくをお願いします。

大垣市と合併をしてどこから手をつけて良いのかまったく分からず、皆さんと話し合いを重ねております。まず第1に子供の安全確保について県のPTAから連絡がありました。各地区で危険な箇所がないかという調査を皆さんの方にもご協力をお願いしたいと思っております。子供が一人で学校から帰らなければならない地区がありますので、見かけられたら「おかえり」「いってらっしゃい」と声をかけていただければありがたいと思います。子供は返事が苦手です。「なんだこの子は」と思われるかも分かりませんが、照れもあると思います。何度か声をかけていただければ返事がかえってくると思います。そういうふうに見守りをしていただければありがたいと思います。

それともう1点、生徒の体育活動とかPTAの活動に公共施設を使わせていただく場合には、今までは無料としていただいたのですが、合併後は全面的に費用が必要になり活動に負担がかかるようになっております。少しでも軽減をしていただけるとありがたいと思います。地域事務所、総合体育館、グラウンドなど全てに負担がかかります。施設の使用料について軽減をよろしく願いいたします。

(三宅 治 会長)

ありがとうございました。それでは、吉廣様ご発言をお願いします。

(吉廣 一郎 委員)

福祉民生委員をさせていただいております。地域を良くするという事は、まず、私は第1番に地域住民の皆様が安心して暮らしていける地域にすることが大切だと思います。大垣の基本方針に、誰もが安全安心で快適に暮らせる町とうたわれております。まったく、そのとおりだと思います。私は、現在、民生委員をしております。まちを良くするという事はいろんなことが絡み合って良くなるのではないかと思います。ついで、福祉のほうに頭が向いてしまいます。

現在の上石津地区には、特別老人ホームがありません。上石津地区内のお年寄り、特に独居老人の人には、体調が悪くなると老人ホームへの入所を考えてあげなければなりません。現在は、よその市町にあります老健、特養にお願いして入所していただいているのが現状であります。その中で、一番困っていますのは、特養に申請をいたしましても、半年以上、長くなると1年以上待たなければ入所できない現状がありま

す。どうか、この上石津地区に特別養護老人ホームの建設をよろしく願います。それから、現在は、働かなければならない時代であり、おのずと特養の入所が多くなります。上石津地区では、4年前までは老人ホーム入所者は、30人そこそこでしたが、それから入所者が毎年増え続けております。現在の上石津地内の入居者数は、特別老人ホームには50名おられます。老人保健施設に17名おられます。それから、ショートステイで20名ほどおられます。療養型ケースは、体が悪い方が入所されており、体をなおしながらあずかってもらえるケースが2名おられます。ケアハウスに2名入所していただいております、合計で91名の方が、よその市町の施設に分けられて入所されている現状があります。特に、関ヶ原の「優・悠・邑」、養老町の「白鶴荘」、いなべ市の「翠明院」に大勢の方がお世話になっております。ですから、なんとか建設をお願いします。先日、「ふるさと現代」で放送されておりましたが、国内の入所者は170万人おられます。まだまだ増えるという現状であり、上石津も、どんどん高齢化が進み、次から次へ入所となると思いますので、特別養護老人ホームの建設をお願いします。

もう一点、大垣市高齢福祉課、在宅福祉の中で、家族介護支援事業として実施されております緊急通報システム体制整備事業についてです。これも以前は、上石津町もやっていたしておりました。この4月に私の担当地区の一人暮らしのお年寄りの緊急通報システムを申請したところ、早くて半年、約1年は取り付けにかかるとのことでした。毎月10日に大垣市総合福祉会館で役員会があります。その質疑応答の中で、大垣市の地区民生委員の役員の方が、緊急通報システムの質問をされました。事務局の答えは、やはり申請から半年から1年ほどかかるといわれました。大垣市は人口が非常に多いので申請する人が多く、対応がしきれないということを事務局が申ししておりました。しかし、緊急通報システムの全てが、市の負担でなく本人の所得に応じて自己負担がありますので、なんとか通報システムの申請をいたしましたら1か月ぐらいで取り付けをしていただけるよう対応できないかと思っております。通報システムは非常に大切なことです。つい最近も、一人暮らしの高齢の方が突然具合が悪くなりボタンを押され消防署につながり、協力者の方にすぐに見に行ってもらえ、その時はたいしたことではなかったのですが、大事にいたらずに良かったです。しかし、緊急を要する場合には、見に行かれた人が消防署に連絡して消防署に対応していただくこととなります。以上2点をお願いします。

(三宅 治 会長)

ありがとうございました。それでは、川添様ご発言をお願いします。

(川添 勇 委員)

上石津町商工会長ですが、我が国の経済は良くなっているようですが、地方であります上石津町の商工業者は、非常に厳しい状況にあるということは申し上げるまでもありません。例年、事業者、小売業の廃業が非常に多くなってきております。そういう中で、経営指導員2名がいましたが、平成16年度には、1名に減員されたわけですが、当然、会員が少なくなるということで減員されたわけですが、また、このあと2年しますと記帳職員が定年退職となります。この後は補充してもらえない状況になってきておりますが、減員のないように特にご配慮をお願いします。

また、商工会にいただいております補助金が減額されつつあります。年々減額され

ていくと運営が厳しい状況になり、合併しなければならなくなります。しかし、上石津地域は、特に高齢化が進んでおり記帳指導、税務指導など必要な地域ですので考慮していただきたい。また、商工会の補助金の削減はしていただかないように特にお願いいたします。

私は、地域的に一番奥地の時山に住んでいます。上石津の西南端に位置し、滋賀県境にございます。県道多賀線の改良工事については、堂之上地内は先ほど説明のあった平成18年度事業に掲載されておりますが、時山地内については、まったく記載されておられません。しかし、時山地内の約300m区間が未開通です。今、多賀線については、傾斜地形であり県道ではなく、林道として工事を進めていただいております。計画では、平成21年に完成するという見込みで続けられております。滋賀県との交流の県道でございますので計画通りの完成をお願いいたします。

(三宅 治 会長)

ありがとうございました。時間も迫ってきておりますので、2分以内でお願いいたします。それでは、加藤様ご発言をお願いします。

(加藤 美智子 委員)

私たち食改、食改といいますと、みなさん、なんですかと言われるので、ここでご説明申し上げますと、全国食生活改善推進委員の団体連絡協議会委員の会員であって、「私達の健康は、私たちの手で」をスローガンに生涯における健康づくり活動を食を通して地域において推進しているボランティア組織の団体です。子供から高齢者までが、健全な食生活を実践することのできる健康で質の高い社会を目指し、幅広く食育活動を定評するとともに、地産地消の推進と郷土料理の継承に取り組みます、食生活改善推進委員は食育アドバイザーです。愛称はヘルスメイトといひまして、この手帳を持参して細かく記録しております。そして、このシンボルマークが目印ですので皆さん、また、食改会員の方がみえましたらよろしくお願ひしたいと思ひます。

会員は、一人ひとりが誇りを持って活動しております。上石津の会員は、40名です。ちなみに大垣市は486名、墨俣31名です。上石津の年間行事といたしまして、中央研修が4回、地域普及活動が7回から8回、男性教室、食事配食にも協力しております。ひとつお願ひしたいのは、この栄養教室を平成17年まで開催しましたが、平成18年からは、大垣市まで行かなければなりませんので、なかなか会員さんが増えません。それで、栄養教室を1年おきにでも良いので上石津の方で開催していただきますようお願ひします。

それからもう一つ、先ほど予算の概要のところでお話されました7ページですが、新市誕生記念交流事業に採用していただきました。大垣市食生活改善協議会は、8月19日(土)に、水嶺湖、緑の村周辺で、食をテーマにした「住民参加型イベント」、食の広場を開催することになりました。事業内容は、あしたばソーメンを使った流しソーメン、食育コーナー、地産地消の健康食、手づくりとしては、麦からストロー、竹炭を使った消臭袋などです。食育のところでは、スタンラリー形式のウォーキングを予定しております。是非、子供と一緒に多くの方に参加していただきたいのでご協力をよろしくお願ひします。

予算の件ですが、今年は、前年度と同じように予算をいただきましたが、活動する予算もなかなか組んでいただけません。活動報告をこまめに出しますので、予算のほうをお願いいたします。

(三宅 治 会長)

ありがとうございました。

<市長退席>

それでは、後藤様ご発言をお願いします。

(後藤 實夫 委員)

時間もないし、市長も退席されましたので、市長に直接聞いていただきたいと思っておりましたが、そのことは別にしまして、今、市長の挨拶の中にありましたが、上石津には1万 ha 余の広大な森林があり、その森林に対して大きな期待を持っているというお話しがございました。また、小寺委員さんからもお話がございましたが、この広大な森林を活用してずっと上石津の人たちは生活をしてきたわけですが、ご案内のとおり状況で、燃料革命とか木材の代替品の開発とかいったことから、林業そのものが、もう、生業として成り立たなくなってきました。こういうことから、林家の皆様は、山に投資をするとか、山の手入れをするといったことをなされておられません。

そんなことから、山はサルとシカとイノシシの楽園となっているような状況でございます。しかし、この状況を放置しておくとか木材のそのものの価値がなくなるというのが当然ですが、それと同時に、多くの国民が期待している山の持つ公益的機能そのものも一緒に無くなってしまおうというのが現状でございます。こうした中、新大垣市におきましては、旧上石津町時代の倍くらいの予算を付けていただき、林業の振興を手伝っていただいています。これからも、山を守っていくのは、山主だけではなく地域に住む皆さん、官民が一体となって山を守っていかないと、その広大な山から大きなしっぺ返しがされるのではないかという感じがしてなりません。

また、先ほど予算の説明の中で、文化財保護につきましているいろいろな形で助成がされていますが、昭和6年に国の天然記念物に指定されました日本でもめずらしいニホンシャクナゲ、これは、笙ヶ岳の標高800m近くに群生しているわけでございます。シャクナゲというのは、ピンクと白というように2色がありますが、この養老山地の笙ヶ岳のシャクナゲはピンク色をしており、道の無いところですが、多くの愛好家の皆さんがその花を訪ねて山を登って来るわけです。今、市行造林がなされ作業道が途中までいっております。そこから1時間半かけて登りその花を見るわけですが、現在も美しい花を咲かせております。このシャクナゲが現在までこうしてきれいに保たれてきたということは、20年から30年ごとに炭を焼くために、上層木を伐採することによって日が当たるようになり守られてきたと思います。そうした意味から自然は、北海道の知床の山林のように自然のバランスによって維持されるものと、人の手を加えてやらなければ維持されないものがあるわけでございますので、これからも、行政もそこに住む皆さんたちも一緒になって山を守っていただきますようお願いして、私の意見を終わります。

(三宅 治 会長)

ありがとうございました。それでは、阿藤様ご発言をお願いします。

(阿藤 昭博 委員)

時まちづくり実行委員会で会長をやらせていただいております。先ほど川添委員さんから言われましたように温泉施設というのは、時地区の住民の悲願でありますので、前進はあっても後退はありません。何卒ご理解をいただきますようよろしくお願いいたします。

今、市のほうでは総合計画策定のために住民の意見を取り入れるためのワークショップが開かれており、大変多くの皆様に参加されております。色々な考えで、色々な目的を持って活動している住民の方や団体が上石津にもございます。そして、地域を良くするために活動されております。大垣市には、多くの活動団体があります。また、上石津町時代の活動は、町からの支援を受けて行ってきましたが、これからも、市職員の方と協働でまちづくりを進めていかなければなりません。

私どもの団体では、時まちづくり会館を整備しました。こうしたまちづくりの拠点施設を地域事務所にも設置していただければと思います。そこでは、住民同士のつながりが生まれ、新しい活動が大垣市の中に生まれ、市全体に活力が生まれてくると思います。

最後に、私的なことで恐縮ですが、青少年育成の会議がスイトピアセンターでありますと駐車料金が必要です。南の端から車を飛ばして来て、すごく違和感があります。情報工房は無料ですし、ご配慮をお願いします。

(三宅 治 会長)

ありがとうございました。それでは、雲村様ご発言をお願いします。

(雲村 法子 委員)

一之瀬の保育園の園長をしておりました。私は、保育園で35年間仕事をしましたが、もう一度勉強をしたいという思いから大垣市で開かれています子育てケア教室を受講させてもらっています。受講料は無料で、午前9時30分から午前11時30分までですが、合併し勉強する機会が増えたという喜びを持ちました。

先日、表彰式があり参列しましたとき、市長さんは長い間身動きせず立ちっぱなしでした。市長さんの役職は体力もないと出来ないなと思い健康には気をつけていただきたいと思います。大垣市との合併で上石津の住民は、大垣市のトップの方々に大変期待をしております。また、私たちもいいところを吸収し上石津が大垣市の中で光る地域でありたいという願いを持って活動していきたいと思っております。

私は、仕事で子供たちとのかかわりを持ってきたということで、子供たちに目が向いてしまいます。最近、少子化、少年の問題など子供たちの問題がたくさん出ています。児童虐待問題についての講習を何回か受けました。どうしたら、そういうようなことが無くなるのだろうか、登校拒否はどうしたら無くなっていくのか、子供たちとどのような係わりや話し合いができるのだろうか。子供たちがこれから大きく育っていくための子育て日本一とは、子供たちがとつてもたくましく、そして、きらきら輝いてほしい。登校拒否になっても、また立ち上がって、またやっっていける。そういった子育てをどういうふうにやっっていきたいのだろうか。緑豊かな上石津から、現代の子育ての悩みや、問題の解決の糸口、そしてヒントが一杯生まれる。そんな講座や会合の場が生まれ、生き生き子育てを発信出来たらと思います。

(三宅 治 会長)

ありがとうございました。それでは、池田様ご発言をお願いします。

(池田 信之 委員)

20年ほど前から地元の牧田郵便局に勤めております。田舎暮らしでは足りないものの方が多くわけですから、足りないものを調達するための車、それとアクセス道路が大切となってきます。特に、冬期間、雪が降ったときの除雪体制についてですが、朝の5時から6時ぐらいの段階で除雪をしていただいております。今後も実施をお願いします。

それから、協議会の性格についてどこまで民意を固めていただけるか分かりませんが、地域にとって最低限必要なものとして小中学校、支所があります。現状維持をお願いします。先にどなたかがおっしゃいましたが、大変広範囲な地域ですので、とても市場原理が働く所ではありません。効率を第一に考えると何も無くなり、残るのは猿だけではないかと思うのですが、是非、そんなところをご理解いただきますようお願いいたします。新市のまちづくりについて先ほどもお話をいただきました。その中に田舎のまちづくりというような観点でもってまちづくりを見させていただき、次回ご提案させていただきたいと思っております。

(三宅 治 会長)

ありがとうございました。

皆様方から、多くの意見等をお伺いしたわけですが、終了時間の11時30分が迫ってきております。後まだ議題が1つ残っておりますので、私のほうからのお話は簡単にしておきます。

私は、教育の現場におりましたので、今、子供たちは大垣市の人たちと一緒に教育を受けていく中で、やっぱりふるさと郷土を愛し、そして、自信と誇りを持って大垣市の中に入って欲しいという願いを持っておるわけでございます。どうしても、小さい学校で育った子供たちが、大きなうねりの中にのまれていくという心配もあり、子供たちになんとか劣等感がないようにと願っておりました。

そうしましたら、先般、上石津中学校のバレーボールの女子が、大垣市で勝ち抜いて西濃大会で4位になり県大会に行けた。これが1つの自信だ、なんでもいから、私たちが頑張れば出来るということで、自信を持つことが大切だと思います。今、大垣市と合併し学校がどういう動きをしているだろうかということについて、私は、社会教育委員としてもお世話になっており、各学校の訪問もしております。そうした中で、色々な状況を聞きながら次回で提案をしたいと思っております。よろしくお願いたします。

(三宅 治 会長)

それでは、市政に関する意見交換は終わりたいと思っております。それでは、続きまして、次第の「6.その他」に移らせていただきます。「大垣市第五次総合計画の策定」について、事務局から説明をお願いします。

(社本 久夫 総合計画策定室長)

総合計画策定室長の社本でございます。よろしくお願いたします。「資料6 大垣市第五次総合計画の策定」でございます。先ほど意見交換の中で、地域の現状と課題ということでお話をいただきました。先ほど説明させていただきました「新市まちづくり計画」は、合併協議の中でご協議をいただきました。しかし、具体的な施策事

業については、総合計画を策定する中で検討をすることになっております。

今回、合併前の各地域の個性を最大限活かしたまちづくりを推進するため、「大垣市第五次総合計画」を策定して行くこととなります。計画の期間は、平成20年度から29年度の10年間です。計画の構成は、基本構想、基本計画及び実施計画をもって構成します。基本構想は、地方自治法第2条第4項に基づき、まちづくりに取り組む基本的な考えや構想などを示します。また、長期的な視点に立ったまちづくりを進めます。基本計画は、前期、後期に分けて進めて行くこととなります。

裏面をご覧ください。実施計画は、具体的な事業計画の策定を行い、3か年のローリング方式を考えております。計画の対象地域は、西濃圏域の中核都市として広域的な役割を重視し、新市全域を対象といたします。また、計画策定に際しては、まちづくり市民アンケート調査の実施をはじめ、まちづくりワークショップやまちづくり懇談会、市長との夢・未来トーク、本日開催の地域協議会など、できるだけ多くの市民の方が、計画策定に参加できるように取り組みをしております。次回、今日のご意見を含めてご提言をいただきますようお願いいたします。また、まちづくり作文や絵画の募集、パブリック・コメントの募集などの取り組みを考えております。計画策定の期間は平成18年度から19年度の2か年です。よろしくお願いいたします。

(三宅 治 会長)

ありがとうございました。只今、「大垣市第五次総合計画の策定」について、説明がありました。何かご質問等がございましたらお願いします。

<質疑応答 なし>

(三宅 治 会長)

こうした大垣市第五次総合計画の中味について協議会等の中でいろいろご提言をいただいて、反映をさせていただくとのことでございます。よろしくお願いいたします。それでは、これで提出された件については、全て終わったわけでございますが、何かこのことだけは言っておきたいということがございましたらお出し下さい。

<質疑応答 なし>

(三宅 治 会長)

ないようでございます。それぞれの方々からたくさんのご提言、ご意見がでておりました。今後、私たちも勉強をしながら、次回に備えてどういった形でまちづくりを進めていくのか、どういった形で意見を反映させていくのか、来年度予算もそうですが、そういう中で勉強しなければならないと思います。今日は、ここで閉じさせていただきます。事務局へバトンタッチをしたいと思っております。ご協力ありがとうございました。

(後藤 定 地域事務所長)

三宅会長様ありがとうございました。委員の皆様には、長時間にわたり貴重なご意見をいただきありがとうございました。皆様から頂戴しました意見は、今後の参考とさせていただきますと存じます。今後も一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。それでは、上石津町地域協議会第1回会議を終了いたします。次回、

第2回会議は8月頃をお願いいたします。本日はありがとうございました。お気をつけお帰りください。

午前11時40分閉会

以上、会議の次第を記載し、その相違ないことを証明するため、ここに署名する。

会 長 三 宅 治

配布資料 一覧

上石津町地域協議会委員名簿	・・・資料1
地域自治区の設置に関する協議	・・・資料2
新市まちづくり計画	・・・資料3
平成18年度大垣市当初予算の概要	・・・資料4
平成18年度大垣市予算主要事業一覧表	・・・資料5
大垣市第五次総合計画の策定について	・・・資料6
ダイナミックシティ大垣(パンフレット)	
かがやきライフタウン構想(パンフレット)	